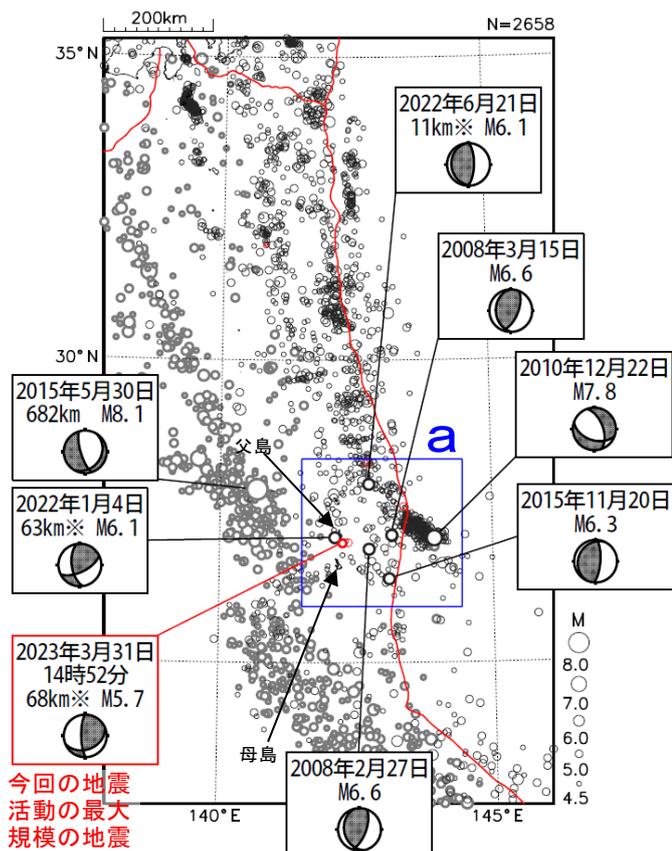


父島近海の地震活動

震央分布図
(1997年10月1日～2023年4月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 4.5$)
2023年3月31日以降の地震を赤く表示
100kmより浅い地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

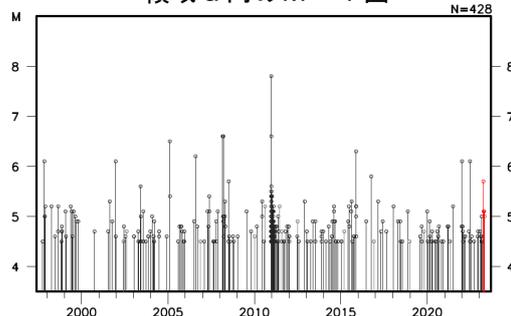


父島近海 (領域b) では、2023年3月31日から地震活動が活発になり、4月30日までに震度1以上を観測した地震が20回 (震度4:1回、震度3:2回、震度2:2回、震度1:15回) 発生した。このうち最大規模の地震は3月31日14時52分に深さ68km (CMT解による) で発生した $M 5.7$ の地震 (最大震度2) である。この地震は太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型である。

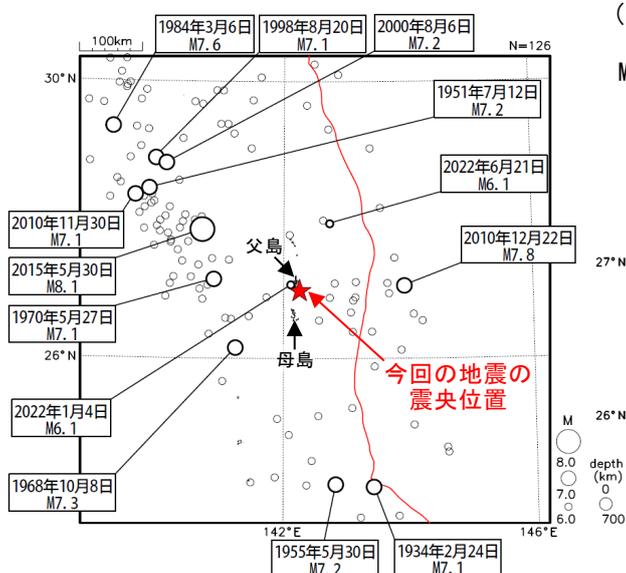
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域a) では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。2010年12月22日の $M 7.8$ の地震 (最大震度4) では、この地震により津波が発生し、八丈島八重根で0.5mなどの津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、小笠原諸島周辺では、 $M 7.0$ 以上の地震が時々発生している。2015年5月30日の深さ682kmで発生した $M 8.1$ の地震 (最大震度5強) では、この地震により関東地方で軽傷者8人などの被害が生じた (総務省消防庁による)。また、1984年3月6日の $M 7.6$ の地震 (最大震度4) では、この地震により関東地方を中心に死者1人、負傷者1人などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

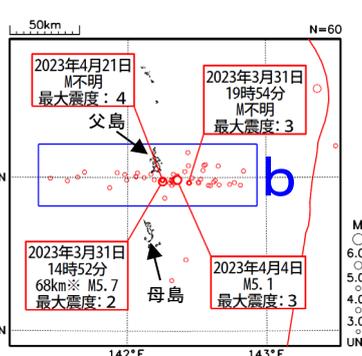
領域a内のM-T図



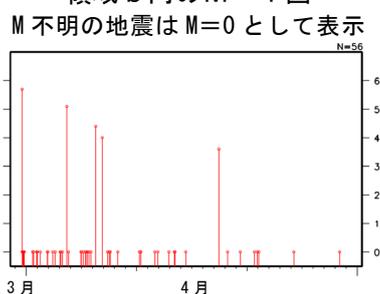
震央分布図
(1919年1月1日～2023年4月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)



震央分布図
(2023年3月31日～4月30日、
深さ0～700km、 M すべて)
 M 不明の地震は $M=0$ として表示



領域b内のM-T図



震度1以上を観測した地震の
発生時系列図
(2023年3月31日～4月30日)

